

SANEI 浄水カートリッジの PFOS および PFOA 除去に関するお知らせ

2024年2月16日
SANEI株式会社

この度 SANEI では、浄水器協会 (JWPA) の規格基準 (JWPAS B 基準) に規定された試験方法により、有機フッ素化合物 (PFAS) の一種である PFOS・PFOA の除去試験を実施し、以下の浄水カートリッジで PFOS・PFOA の除去を確認できましたのでお知らせ致します。

< 対象品番 >

				
M71750M-1	M7172M-1	M7172M-3S	M7172MG-1	M713-1
カートリッジ	浄水カートリッジ (標準)	浄水カートリッジ (標準) 3本入り	浄水カートリッジ (高除去)	カートリッジ

※ 尚、PFOS・PFOA の除去を確認できた商品のパッケージ、取扱説明書等につきましては順次表示変更を致します。同じ品番の商品の性能は変わらず、旧表示の商品でも同じように除去できます。

■試験結果

水道水の「水質管理目標設定項目 27 項目」に設定された PFOS 及び PFOA の濃度の水を各浄水カートリッジで 80%以上除去できることを第三者試験機関にて確認 (浄水器協会自主規格※による試験に準ずる) しております。 ※JWPAS B.210 浄水器の除去性能等試験方法に関する規格基準

■PFAS (ピーファス) とは

有機フッ素化合物のうち、ペルフルオロアルキル化合物及びポリフルオロアルキル化合物を総称して「PFAS」と呼び、1万種類以上の物質があるとされています。PFAS 中には撥水・撥油性、熱・化学的安定性等の物性を示すものがあり、そのような物質は撥水・撥油剤、界面活性剤、半導体用反射防止剤等の幅広い用途で使用されています。

■PFOS (ピーフォス) および PFOA (ピーフォア) とは

PFAS の中でも PFOS (ペルフルオロオクタンスルホン酸)・PFOA (ペルフルオロオクタン酸) は、幅広い用途で使用されてきました。PFOS・PFOA には、難分解性、高蓄積性、長距離移動性という性質があるため、環境への排出が継続する場合には、分解が遅いために地球規模で環境中に蓄積され、環境や食物連鎖を通じて人の健康や動植物の生息・生育に影響を及ぼす可能性が指摘されています。人においてはコレステロール値の上昇、発がん、免疫系等との関連が報告されています。しかし、どの程度の量が身体に入ると影響が出るのかについてはいまだ確定的な知見はありません。国内において、PFOS、PFOA の摂取が主たる要因と見られる個人の健康被害が発生したという事例は確認されていません。

※ 出典：環境省 PFAS に対する総合戦略検討専門家会議 「PFOS、PFOA に関する Q&A 集 2023 年 7 月時点」